

【企画展報告】

今村力三郎文庫の世界 Part II

——『今村力三郎文庫目録』に登場する弁護士たち——

専修大学法学部教授 坂詰 智美

1. はじめに

2022年、今村法律研究室として初めての企画展を、「今村力三郎文庫の世界 Part I —— 88年前の年賀葉書と人縁と地域」と題して、神田・生田の両キャンパスで開催した。その記録については、既に室報77号に報告済みである。

企画展を終えた頃より、「次の企画展は?」「Part IIもやるんですね?」など、思いもかけない反響をいただいた。今村力三郎文庫の存在とその内容の一端を、少しでも知ってもらえればと思い、まずは試しに? とやってみた企画であったが、今後もあり続けていく重要性を感じた瞬間でもあった。

Part I で見せたかったのは、今村先生の人的交流の凄さであり、最もわかりやすい例として年賀葉書の枚数と、人的繋がりをメインとした。では、次は? どのようなものを見せれば、良いのであろうか?

そこで目にとまったものが、『今村力三郎文庫目録』である。目録はあるものの、調査・研究までには到底至っていないうえに不備な点も散見されることから、全体を通しての再確認を始め、その成果の一端を企画展として開催したのがPart Iであった。しかし、目録に不備はあるが、その中からでも得られるものもあるのではないか? という意見もあり、その観点から企画展になりうる題材を選んでみることにした。そして企画されたのが、「『今村力三郎文庫目録』に登場する弁護士たち」である。

『今村力三郎文庫目録』には379件の事件が記されているが、事件の内容とその大小により、今村力三郎の他に多くの弁護士が関わっていることが読み取れる。その当時、社会的に知られた有名な事件を、今村先生が多数の弁護士たちと共に弁護していた実態を「見える化」することが、Part IIの目的である。

2. 企画展の期日および展示場所の記録

〔展示期日〕

2022年12月5日（月）～同年12月22日（木）

〔展示場所〕

神田キャンパス 5号館1階 アクティブ ラウンジB

3. 企画展の内容

展示内容については、以下の通りである。

①パネル展示

- 1 専修大学コレクション「今村力三郎文庫」とは？
- 2 今村文庫目録にみる訴訟内容の特徴と今村法律事務所
- 3 今村訴訟記録にみる戦前の弁護士たち
 - ① 大逆事件, 金剛事件
 - ② 虎の門事件, 今村懲戒事件
- 4 今村訴訟記録にみる戦前の弁護士たち
 - ③ 五・一五事件, 血盟団事件
 - ④ 神兵隊事件, 帝人事件
- 5 『今村力三郎訴訟記録』に登場する主な弁護士 ① 卜部喜太郎, 牧野賤男
- 6 『今村力三郎訴訟記録』に登場する主な弁護士 ② 奥山八郎, 林逸郎
- 7 京城土木談合事件
- 8 今村文庫目録にみる汚職事件
- 9 今村文庫目録にみる選挙違反事件
- 10 専修大学「中興の祖」今村力三郎
- 11 専修大学と今村力三郎 ①
- 12 専修大学と今村力三郎 ②
- 13 「反骨」の弁護士 今村力三郎
- 14 代言人と代言人制度
- 15 1892年の代言人名簿にみる専大出身の弁護士
- 16 明治期の専修大学出身の法曹

②展示物

- 1 談合事件裁判記録ノート
- 2 主な弁護士の年賀状：卜部喜太郎, 牧野賤男, 林逸郎, 奥山八郎
- 3 卜部喜太郎 今村懲戒事件弁論要旨
- 4 今村先生から専修大学法学部に贈られた放火事件弁論稿
- 5 今村力三郎 専修学校卒業証
- 6 今村力三郎 杉並区成宗の自宅写真
- 7 今村先生宛て 弁護士名簿登録通知書・明治31年
- 8 今村先生宛て 東京弁護士会副会長当選通知・明治44年

4. 企画展の様子

今回もOBの先生方, 教職員の方々, 学部の学生, 卒業生など多くの方々に足を運んでいただいた。

専修大学コレクション展 II
『今村力三郎文庫目録』に登場する弁護士たち

今村力三郎
文庫の世界

2022
12/5月
>>> 12/22日

会場
神田キャンパス5号館
1階アクティブラウンジB
9:00 ~ 17:00
※日毎開催時間内に限る
平日のみ開催

〈主催〉専修大学今村法律研究室
〈協力〉専修大学大学史資料室
TEL: 03-3285-5979
E-mail: archives@acc.senshu-u.ac.jp

〒100-8302 東京都千代田区千代田1-3-1 専修大学本館5階 (専修大学内)

展示会用ポスター



展示物の一部



会場風景

5. 今後の企画展に向けて

今回の企画展も、多くの方々に見ていただきました。来ていただいた方々のご意見などもいただくと次回以降にも生かされることも多かろうと思い、初めてアンケートも実施した。アンケートに回答していただいた方は学内関係者（教職員・学生）が多かったが、中にはたまたま訪れた卒業生の方々や、通りすがりに入ってみたという一般の方もおられた。私のゼミナールではOBOGでLINEを組んでいるが、LINEに企画展を開催することを告知したところ、仕事の合間？ に寄ってくれた卒業生

もいた(アンケートにその旨記載されていた)。アンケートに協力していただいた方々からは様々な意見が寄せられていたが、多かったのが「このような企画展をやっていることは知らなかった」「あまり他にないテーマなので、今後も続けてほしい」というものである。前者については、PR不足であることが明白であるので、今後は早めの告知ができるよう、工夫を心がけたいと考えている。今村法律研究室のHPや大学のHP以外にも、PRできる手段を講じたい。後者については、私たち今村法律研究室がまさにやろうとしていることであるので、賛同を得たということであろうか。今村力三郎先生を顕彰することは当研究室のなすべき仕事の一つでもあるので、今後もコツコツと、企画展を継続していきたいと思う。

なお、Part IIIに向けての企画展はあるのか?との問いも多かったが、実は既に実施済みである。Part IIIは、2023年9～10月に神田キャンパス5号館で大学史資料室と共同開催という形で行った。展示の詳細報告については、次号以降に載せることを予定している。